

『これからの学校プロジェクト』を推進しています

佐賀県教育委員会では、学校現場の「当たり前」や「思い込み」を教職員自身が見直し、教育の目的を問い直すことで、子どもたちの主体性を育む学校づくり『これからの学校プロジェクト』を推進しています。今年度から開始した本プロジェクトは、佐賀県教育大綱「自分で自分のことを決められる子どもに育てたい」という理念の実現を目指すものです。教職員が本音で語り合い、納得感を持って学校改革に取り組めるよう伴走支援を行っています。

『これからの学校プロジェクト』実施の流れ

- 1 学校からのプロジェクト実施の希望を受け、県教委・市町教委と学校で実施日時を調整する。



- 2 事前打合せを実施する

実施日決定後、実施の10日前までの日に、県教委の担当者、ファシリテーター、学校長でオンラインによる事前打合せを行う。事前打合せでは、学校の課題や学校の最上位目標を踏まえ、パターン①・②・③・④のどの内容でワークショップを実施するかを検討し、決定する。



- 3 学校が事前に話し合いたいテーマをいくつか決める。（パターン②の場合のみ）

事前に職員に対してアンケートを実施し、よりよくしたい教育活動のテーマをいくつか決める。（宿題・行事・部活動etc）

- 4 ワークショップを実施する

ワークショップは、外部コンサルタントまたは県教委、市町教委がファシリテーターを務める。ワークショップには、学校長を含む管理職及び全教職員の参加を原則とする。学校の最上位目標を確認するとともに、現在の取組が最上位目標に沿ったものであるか、その目的を問い直し、協議・共有を行う。（ワークショップ終了後、個人で二次元コードによる簡単なアンケートに回答する。学校としてのアンケートにも回答する。）



- 5 実施後のフォローを行う

ワークショップ実施後、管理職を中心に、できるところからまず「やってみる」。支援が必要になった場合は、県の『これからの学校プロジェクト』推進メンバーの支援を依頼する。

基本的に県職員がファシリテーターとして入るのは1回限りです。別のパターンでワークショップを実施する場合は、再度入ることもできます。『これからの学校プロジェクト』は、今年度から2028年度までの3年間で、県内すべての小・中学校・義務教育学校・県立学校において実施予定です。

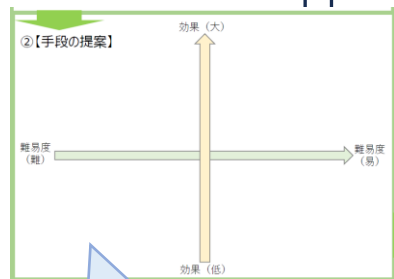
『これからの学校プロジェクト』ワークショップのパターン

パターン①（教育改善中心）
ゼロから始める
→テーマ出しから深堀り

パターン②（教育改善中心）
既存のテーマに着手
→深堀りし合意形成

パターン③（教育改善中心）
共助が進み、自助へ
→個人のタイムデザイン

パターン④（授業改善）
→子ども主体の学びへ転換
単元づくりから考えよう



※パターン①②は共通のワークシートを使用。
（左の図はワークシートの一部）

現在の取組が最上位目標に沿ったものか、その目的を問い直そう

自分にできることを考えよう

週4回は 家族で揃って 夕食を食べる	月一回は 夫婦で出かける 時間を作る	年に一回は 新しい場所に 旅行に行く
コーヒー杯 だけは、毎朝 ゆっくり飲む	プライベート LIFE	季節に一回は 音楽ライブか 美術館に行く
最低7時間は 睡眠をとる	わが子のサッカーの試合を 応援に行く	月1冊以上 読書をする

学びの軌跡WS 単元づくりワークシート

Step① インプットタイム

Step② 単元のゴールを決めよう

教科	単元名	時数
単元の目標 指導要領や指導要領を参考に、重点を掲げて、自分の言葉で書こう		
この単元を一言で言うと？		
この単元は		